



防災コンテスト

3月8日(日)に第53回防災コンテストが墨田区総合運動場(フクシ・エンタープライズ墨田フィールド)で開催されました。文花中学校からはジュニア・レスキュー部が参加しました。

このコンテストは、向島消防署が主催するもので、昭和47年に「奥様防災コンクール」としてスタートした歴史あるものです。現在は女性の部、男性の部、中学生の部の3つの部門があり、火災時の初期対応力を高めることを目的としています。競技は1チーム3名で実施され、通報要領、消火器による初期消火、スタンドパイプの取り扱いなどを評価します。

まずは通報要領です。消防署職員の方の「火事ですか、救急ですか。」との問いかけに対し、火災の状況を的確に伝えます。

次は消火器による初期消火です。火元に向かって消火液(今回はコンテストなので水)を噴射します。一般的には消火器で消し止められないときにはすぐ避難することが大切です。



スタンドパイプによる消火のようす

次はスタンドパイプです。スタンドパイプとは、道路の消火栓に差し込み、ホースを繋いで初期消火を行う軽量・高機能な消火用の道具です。墨田区は木造住宅密集地域も多いです。皆さんも地域の消火訓練に参加して自分自身と地域の防災力を高めてみませんか。

小学生の皆さんにも読んでもらえるように漢字に読み仮名を付け、個人情報保護のため画像を加工しています。右の二次元コードよりホームページもご覧ください。

